

<p>1 部の 使命</p>	<p>私たち まち整備部は養父市に暮らし訪れる人々が望む、安心できる環境と住みよいまちづくりのため、全職員の知恵と情熱を結集し、安全で快適なまちを創造していきます</p> <p>【評価】 ライフラインをはじめとした社会インフラの整備や維持管理、都市的魅力向上に向けた計画策定や公共交通などの地域課題に取り組むことで一定の成果を上げることができた。一方、インフラメンテや複雑多様化する市民要望への対応等において、マネジメント面での課題を残した。</p> <p>【方向】 個々に担当する業務が社会もたらす影響や意義をしっかりと理解した上で職務を遂行できるよう管理職自らが率先して対話による信頼関係を構築していく。その上で創意工夫を重ね、風通しを良くし、職員の協働と連携により組織力の向上を図ることで市や部の使命を果たしていく。</p>
------------------------	---

<p>2 それ まで の経 営評 価</p>	<p>【令和4年度実績】</p> <p>【柱③公共】</p> <p>(地籍)</p> <p>△G：年度末地籍調査進捗率 : 32%以上//31.7%</p> <p>△G：安全な調査実施による事故の件数 : 0件//2件</p> <p>(上下水)</p> <p>○G：滞納額の徴収率を前年度以下にはしない : 60%以上//60.58%</p> <p>○G：知識向上のための各人1回以上の研修参加率 : 100%//100%</p> <p>(建設)</p> <p>△G：市管理道路の管理瑕疵による事故 : 0件//1件</p> <p>△G：レベルⅢ以下の市道橋補修数 : 30橋//6橋</p> <p>(土地利用)</p> <p>△G：地域との協働による空家対策の推進件数 : 8件//7件</p> <p>△G：公共交通利用者数の維持 : 利用者数対前年度以上//2.7%減</p> <p>【評価】 部の経営目標8項目のうち、2項目で達成、6項目で未達成であった。滞納額の徴収率維持と研修参加率を除き、すべて未達となり達成率のみで見ると25%と全体としては低調な結果となった。</p> <p>一方で、厳しい社会経済情勢にある中で、公共交通の利用者数は、ほぼ横ばい状況にしたことや、大きな社会問題として先鋭化している空家問題に関しては、一定の成果を収めた。</p> <p>地籍調査の進捗率もほぼ目標に近く、市道管理瑕疵に起因する事故も1件に留めるなど、不断の努力の成果も一定程度現れたものと評するが、一方で、ハード事業が大幅な未達に終わるなど、事業進捗管理面の問題が顕著に表れる結果となった。</p> <p>【原因】 地籍調査進捗に関しては、補助金交付額が要望額を下回ったことなどが影響。管理瑕疵による事故1件は、予見しづらい事案。橋梁補修数に関しては、緊急を要する道路修繕工事の発生等諸般の事情があったことを考慮しても大幅未達でありスケジュール管理に問題があったと思慮。空き家対策は、補助による除却が5件、応急措置による養生が2件と一定の成果はあったがスピード感に欠けた。公共交通利用者数の維持については、デマンド方式を取り入れた「タッキー号」の善戦はあったが、コロナ禍等社会情による公共交通離れや人口減少も影響した。</p>
--	--

	<p>【対応】 社会（生活）インフラの安定供給と維持向上により物理的にも精神的にも安全安心な生活環境を提供するため、まちづくり計画をはじめとした諸計画に基づいたまちづくり事業を着実に計画的に推し進めていく。</p> <p>そのためには、職員の意識改革が急務であり、緊張感とスケジュール感に加えてスピード感をもって諸事業の推進にあたるよう指導していく。</p> <p>具体的には、毎月第一週の金曜日に部内管理職会議を開催し、各課の事業進捗度合等を確認し合うこととする。また、各地区等からの各種要望等への対応に関しても、原則2週間以内での回答を徹底し、信頼獲得に努める。また、管理職の意識変容を促し、職員の中に蔓延する閉塞感を打破し、未来志向で前向きな職員の育成に部長自ら率先して取り組む。</p> <p>これらの取り組みにより職員の意識改革による自己研鑽を促し、能力向上と達成感の共有によって組織力を高め、最大限の成果を引き出したい。</p>
--	--

3 外部 環境	<p>◎機会</p> <p>【政治】 国の「防災・減災、国土強靱化のための対策」</p> <p>【経済】 新型コロナウイルス収束による地域経済への好影響</p> <p>【社会】 交通インフラの整備（自動車専用道路・県道BP）</p> <p>【市民】 身近の生活環境向上への取り組み</p> <p>【情報】 国・県・業界との人材・技術・情報の共有</p> <p>▼脅威</p> <p>【地域】 人口減少・少子高齢化・労働力人口の減少・公共交通問題・空家の増加</p> <p>【経済】 光熱水費、燃料費等の物価高騰・社会資本整備に必要な財政支援の逡減</p> <p>【市民】 要望の多様化と複雑化による優先順位決めと対応に苦慮</p> <p>【社会】 社会資本インフラの老朽化 橋梁メンテナンス・上下水道の長寿命化・公共施設の維持管理</p> <p>【協働】 建設業者及び技術職員の不足</p> <p>【環境】 自然災害の激甚化・頻発化</p>
---------------	--

4 内部 環境	<p>○強み</p> <p>【使命】 管理職自らが範を示すことで職員の意識改革へとつなげる気概の醸成</p> <p>【政策】 国・県との事業推進への連携強化</p> <p>【協働】 地域自治組織や事業者等の存在</p> <p>【人材】 緊急時における危機管理能力の高い職員の存在</p> <p>▽弱み</p> <p>【計画】 インフラ長寿命化計画の進捗の遅れ</p> <p>【人材】 技術専門職員の育成の遅れ、組織人としての自覚と責任感の欠如</p> <p>【情報】 部内職員への情報共有機会の確保が困難</p>
---------------	--

5 重要 経営 課題	<p>【住む】若者向け住環境の整備や空家の利活用による定住の促進 公共インフラの老朽化対策及び維持管理対策の推進 公共交通のあり方に関する抜本的な見直し</p> <p>【市民】多様な市民ニーズへの迅速かつ、きめ細やかな対応</p> <p>【人材】専門性の高い職員を育てる機会の確保</p> <p>【協働】用地境界の明確化（地籍調査の推進） 空家対策における地域との協働（利活用・保全・除去）</p> <p>【生活】快適な住環境の維持（上下水道・市営住宅・公共交通・市道管理・除雪）</p>
---------------------	--

6 部の 経営 体制	<p>・所管課：土地利用未来課、地籍調査課、建設課、上下水道課</p> <p>・人員：部長職2人、管理職6人、技術職18人（技能労務職12人含む）、 一般職15人、会計職6人 合計47人</p> <p>・予算：一般1,276,484千円 一般会計総予算の 6.2% 水道2,355,166千円 下水2,472,083千円 計4,827,249千円 特別会計総予算の38.3% 部全体予算6,103,733千円 総予算の18.4%</p> <p>一般全体20,500,000千円 特別全体12,618,349千円 総予算33,118,349千円</p>
---------------------	---

7 部の 経営 目標	<p>【柱③公共】</p> <p>(土地利用未来課)</p> <p>B：持続可能な地域公共交通体系の構築 : 交通連合設立準備会の発足</p> <p>B：遊休地跡地活用の検討 : 基本構想（事業スキーム）の確立</p> <p>B：八鹿 IC 周辺開発の検討 : 基本構想素案作成に向けた予算化</p> <p>(地籍調査課)</p> <p>B：年度末地籍調査進捗率 : 34%以上</p> <p>B：リモセン活用による山林部調査の拡大 : 1 計画区以上</p> <p>(建設課)</p> <p>B：Ⅲ判定以上の市道橋梁の補修工事 : 20 橋（補修対象橋梁数 65 橋） （※事業実施については、優先順位を整理した上で臨む）</p> <p>B：（仮）市道栄町朝倉線の整備促進 : 道路法線確定</p> <p>B：当該年度実施予定事業の発注率 : 100%</p> <p>(上下水道課)</p> <p>B：水道施設更新計画、ストックマネジメント計画更新 : 計画策定</p> <p>B：適正な上下水道料金の検討と丁寧な住民説明 : 各地区住民説明会開催</p> <p>B：当該年度実施予定事業の発注率 : 100%</p> <p>(全体)</p> <p>B：当該年度実施予定事業の発注率 : 100%</p> <p>B：職員の意識変容と人材育成による組織力の底上げ : 市民満足度 100%</p> <p>B：デジタル技術活用による各種業務の効率化 : 5 業務</p>
---------------------	--

<p>8 部の 経営 方針</p>	<p>まちづくり計画「やぶ 2050～居空間構想～」の実現を念頭に置き、部の経営方針を次のように定める。</p> <p>【経営】 市民ニーズに則した市民目線の経営 数多く寄せられる様々要望に対して現地の確認や要望者の生の声を聞き、市民目線に立った「きめ細やか」な対応をできるだけ速やかに行う</p> <p>【政策】 デジタル技術の活用によるサービスの向上 デジタルやテクノロジーの導入を進め、より便利で快適な市民生活が送れるようサービスの質の向上をめざす</p> <p>【協働】 官民協働による生活環境の整備（インフラ維持・空家対策） 官民それぞれの使命や役割を認識し、市民との協働で問題解決に取り組む</p> <p>【人材】 職員のスキルアップを重視した経営 日々進化する技術や社会経済情勢に対応できる職員を育成するため、学習機会の確保に努めるとともに人材獲得にも傾注する。</p> <p>【改善】 スクラップ&ビルドによる選択と集中の経営 漫然と日々の業務をこなすのではなく、合理的な判断に基づいた選択と集中による経営を行い、真に必要な市民サービスの提供を行う。</p> <p>【財政】 効率的で持続可能な企業経営 独立採算を基本に、効率的で持続可能な公営企業経営が行えるよう適正な公共料金の設定を行う。また、新たな投資や施設の統廃合など大規模な財政出動を伴うハード事業については、将来需要などを予見しつつ、無駄のない企業経営を行う。</p>
-------------------------------	---

<p>9 部の 重要 政策 の取 組内 容</p>	<p>柱③公共</p> <p>【新規】 遊休地跡地活用検討事業 目標／移住定住者の増加など地域振興につながる土地利用と事業スキーム構築</p> <p>【継続】 空家対策推進事業 地域連携型空家対策促進事業 目標／地域との連携により、利活用や除去への推進</p> <p>【拡充】 交通施策事業 地方バス等公共交通維持確保対策事業／自家用有償運送事業 目標／地域にとって利便性が高く効率の良い路線バス体系や自家用有償運送のあり方等持続可能な交通体系の検討</p> <p>【継続】 地籍調査事業 航空レーザー測量を活用 目標／航空写真や航空レーザー測量によるデータを活用した境界確認により安全で効率的な事業進捗を図る</p> <p>【拡充】 道路橋りょう補修事業 橋りょう長寿命化対策 目標／市内 581 橋の内、対策補修が必要な 20 橋の着手 路面維持補修対策 目標／安全安心な通行の確保するため補修工事を実施</p> <p>(仮) 市道栄町朝倉線新設事業 目標／国道 9 号と市外地へのアクセス道路及び商業施設等</p>
---	--

	<p>への利用者の増加により整備に着手する。令和5年度は橋梁予備設計を実施</p> <p>【改良】 上水道施設の設備更新</p> <p>目標／九鹿加圧ポンプ所制御盤更新、大塚浄水場膜ろ過設備タッチパネル更新、堀畑浄水場1系膜ろ過設備電動バルブ更新</p> <p>下水道施設の設備更新</p> <p>目標／八鹿浄化センター脱水機更新、関宮西部浄化センター電気設備更新、関宮東部処理区中継ポンプ更新</p>
--	--